

## 環境

\*\*\*\*\*

提案・意見

木質バイオマス発電設備の誘致について

J R・道路管理者・河川管理者・N T T・中部電力などは設備保全のために支障となる樹木を定期的に伐採しています。しかし、再利用する仕組みが確立されていないため伐採した樹木は現地に残置しています。

これは、利用できるエネルギーを捨てているのと同じで勿体ないなと感じています。

ですので、県所有地であるサンアリーナの未利用地や市所有の未利用地へ木質バイオマス発電設備を建設し伐採木などで発電する排熱は、地下から汲みあげた温泉水を温めて温泉設備の一部として使用するなどの観光の目玉としてはどうかと思います。

もちろん、木質バイオのプラントメーカーとタイアップするといったアプローチになるとは思いますがこの仕組みを作ると、上記設備管理者は、とても助かると思います。

また、山の所有権者も不要な伐採木を持ち込める場所ができるので山の管理もしやすくなるので助かるのではないのでしょうか

## 回答

伊勢市では、平成24年に伊勢市地球温暖化防止実行計画を策定し、めざす将来像のひとつとして「エネルギー地産地消のまち」を掲げ、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入促進を行っています。

ご提案いただきました木質バイオマス発電設備は、採算ラインである発電規模が5,000kw級の発電所を運営する場合、年間6～7万tの燃料が必要となりますが、市内の森林面積のほとんどが神宮林であり、また、燃料搬出のための林道は未整備であるため、市内のみでの燃料供給は困難な状況にあります。このため、燃料の安定供給には県内県外の遠方からの輸送が必要となり、長距離の輸送コスト、輸送燃料による環境影響が懸念され、すでに三重県内に3施設が開所していることから立地は難しいといえます。

現状として、市内における上記の発電施設の立地は難しい状況がありますが、事業者等からの打診があれば、三重県とも連携しながら対応したいと考えております。

担当課

商工労政課（2016年12月回答）

## まちづくり

\*\*\*\*\*

提案・意見

リニア開通時期に合わせたインフラ整備を

2037年頃には名古屋～大阪間に三重を経由する形でリニア新幹線が通るといわれています。

しかし、伊勢・鳥羽方面は、亀山に行く際のJRインフラ整備が昔から全くなされていなかったために、そこへ辿り着くまでに時間を要してしまい。実際にはあまり時間的なメリットを受けられません。

よって、東京や大阪への移動時間削減も含めたリニア開通時期に合わせたJRインフラ（在来線の増強）整備を周辺市町村と連携して働きかけていただけると嬉しく思います。

東京から今以上に、短時間で伊勢・鳥羽方面に来れるとなると観光客も今以上に増えると考えますし、次の遷宮に時期的には丁度間に合うのではないのでしょうか。

回答

この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

リニア中央新幹線については、平成26年10月に品川・名古屋間の工事实施計画が国土交通省に認可され、現在、南アルプストンネルや品川駅において工事が進められております。

ご提案をいただきました名古屋・大阪間については、概略ルートや駅の概略位置などが現在、未公表となっております。

伊勢市におきましても名古屋・大阪間の早期開業が実施されるよう「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」に加入し、リニア中央新幹線に関する情報収集や要望、関係機関との連絡・協調を図っております。

また、「三重県鉄道網整備促進期成同盟会」にも加入し、JR東海に対し、快速みえ号の増結、増便、全列車鳥羽への運行延長、訪日外国人旅行者向け対応強化などの要望を行っております。

リニア中央新幹線の開業は、三重県及び伊勢市の観光や産業経済、市民生活などの様々な分野に加え、地方創生として活力ある地域づくりに寄与されることから、リニア中央新幹線の整備効果が十分波及できるように引き続き要望してまいりますので、何卒、ご理解をいただきますようお願いいたします。

担当課

交通政策課（2016年12月回答）

## 観光

\*\*\*\*\*

提案・意見

マラソンのバナナ

ゴールしてバナナをもらおうとしたらバナナがなかった。早くゴールした人からチケットをもらえて独占できるのはずるい。

回答

この度は「お伊勢さんマラソン」のサンプリングについてのご意見いただき、ありがとうございます。

サンプリングブースに関しましては、各出展企業様からのご好意により運営がされています。

出場者の方も楽しみにしている等との好評のお声をいただいている一方で、欲しかった物が手に入らなかったとお声をいただくこともあり、事務局からも各出展企業様へ、これまでの実績等を踏まえつつ、可能な範囲で対応をお願いしているところです。

しかしながら、人気商品に関しましては、サンプリングチケット配布直後から行列ができ、今年度も品切れとなる店舗がございました。

事務局としましても、今後も各出展企業様へ対応をお願いしていきたいと考えていますので、ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

担当課

観光振興課（2016年12月回答）

# 防災

\*\*\*\*\*

提案・意見

災害に強い再生エネルギー設備の積極導入を

この地域は、近い将来大規模地震が発生するであろうとも言われています。

その際のバックアップ電源確保という意味合いからも、また新たな観光の目玉としても再生エネルギーを積極的に導入促進すればいかがでしょうか

例えば具体的には道路法面や、ため池にフロートを浮かべて太陽光発電とか、はたまた、廃材や間伐材を利用したバイオマス発電設備の誘致・建設による新たな雇用の確保、朝熊山麓や南伊勢・度会町方面で平均風速も高く公園などの規制が緩い箇所での風力発電の積極誘致などに取り組みたいはいかがでしょうか

災害発生時は電力会社のインフラも信用はできないので、その際に大いに被災者の生活に役立つのではないのでしょうか

回答

再生可能エネルギーの導入は、伊勢市地球温暖化防止実行計画において、めざす将来像のひとつとして「エネルギーの地産地消のまち」を掲げ、導入促進を図っています。

再生可能エネルギーについては、地球温暖化防止効果のほか、災害時の電力確保等の様々な利点があることから、伊勢市の自然環境や住宅環境、景観や安全面、規制などを踏まえつつ、有効な再生可能エネルギーの導入を促進していきたいと考えています。

(環境課)

災害に強く低炭素な地域づくりのため、避難所や防災拠点等に再生可能エネルギー等を導入することは、地震や台風等による大規模な災害に備える有効な手段と考えます。

現在、市は市内で太陽光発電を行っている事業者と協定を締結しており、災害時に利用していく予定となっています。

(危機管理課)

担当課

環境課、危機管理課 (2016年12月回答)

## 防災

\*\*\*\*\*

提案・意見

連絡放送について（防災連絡含む）

休日、家にいますと伊勢市防災放送がたまに聞こえてきますが、家の中では聞き取れないため、その際外へ出て確認するんですが、大変聞きづらいです。近くの住人とも話しております。（聴力に問題ない私でも、内容が聞き取れない）近くの方も緊急時の連絡などがスムーズに聞けるか心配ですので、放送の声が届いているか是非確認いただきたい。（スピーカーの設置場所や適性な設置個数の問題？）

回答

現地で防災無線放送を確認しましたところ、若干聞き取りにくいことがわかりました。

防災行政無線拡声子局（スピーカ）は、現在、市内に287箇所を設置しており、設置場所や周囲の建物状況、風向き、天候などにより、聞き取りにくい場所もございます。また、この拡声子局（スピーカ）は、市内全域をカバーできるよう音域等を考慮した上で配置しているため、再配置を行うことが難しい状況となっています。

市は市民の皆さんに災害情報等を防災行政無線放送のほか、防災メール、電話サービス、ケーブルテレビの文字放送、FAX等で伝達しています。

以上のことから、防災行政無線放送が聞こえにくい場合は、これらのサービスに登録していただくなど、様々な方法で情報を取得していただき、災害に備えていただきたいと考えておりますので、ご理解よろしくお願いいたします。

○伊勢市防災メール

防災行政無線の放送内容を登録されたメールアドレスへ配信するサービスです。

携帯電話用 <https://service.sugumail.com/ise/>

○防災行政無線電話サービス

防災行政無線の放送内容を、電話で確認することができます。

- ・市内から 0120-64-3151（フリーダイヤル）
- ・市外・携帯・PHSから 0596-20-3174（有料）

○防災FAXサービス

防災行政無線の放送内容を、登録されたFAXへ通知します。  
事前の申請・登録が必要です。

携帯電話等へのメール配信など、詳しくは、伊勢市ホームページでご覧いただくか、危機管理課までお問い合わせいただき、ご利用とご登録をお願いいたします。

担当課

危機管理課（2016年12月回答）

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

学校の卒業アルバムと流行語

学校の卒業アルバムには、ここ数年の出来事を年表形式で載せているページがあると思います。

昨年度、上の子が小学校を卒業するさいにもらった卒業アルバムには同じページ内に流行語も載っていました。イデオロギーを強く誇示するような言葉が含まれていて不快に感じました。

どこかで流行語として選ばれたとしても、その言葉が卒業アルバムに載せる言葉としてふさわしいのかどうかを考えられたのでしょうか。

そして、今年の流行語の中には日本を否定する言葉が選ばれてしまいました。

今年度の卒業アルバムにも流行語が載るのではないかと危惧しております。

未来を歩んでいく卒業生に渡す卒業アルバムにあのような言葉が載っても良いと思われませんか、どうでしょうか。

伊勢市としてどう考えられますか教えてください。よろしく願いいたします。

## 回答

卒業アルバムは、子どもたちにとって学校の思い出が凝縮されたもので、一生の思い出であると思っています。学校としても、子どもたちに大人になってからも大切に、何度も見返してもらいたいと思い、作成に励んでいます。

卒業アルバムの作成に当たっては、各学校で業者を選定し、子どもたちへよりよいものにしようと工夫しています。その中で、卒業にあたって当該年度以前の世の中の出来事を掲載しているアルバムが多いと確認しています。内容についても、業者によってちがうことが多く、流行語大賞を掲載しているアルバムは、そのときの世相を反映するものとして掲載されているようです。その年の流行語を含め、今の世の中の動きを大人になったときに感じられるものだと思います。どのように感じるかは、大人になったときの状況によって違ってくるでしょうが、そのときに感じた思いからそのときの社会について考えていってもらえるでしょう。

子どもたちが、それぞれの言葉について適切か不適切かを判断し、正しい行動が出来る大人になるよう、これからもさまざまな場面で指導をすることが大切であると考えています。

いただいたご意見については、保護者の方の貴重なご意見であると考えておりますので、今後のアルバム作りの参考となるよう、学校とも共有してまいります。

担当課

学校教育課（2016年12月回答）

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

学校の卒業アルバムと流行語 2

「学校の卒業アルバムと流行語」という表題で質問した者です。回答をいただきましたが、納得できませんので再度質問いたします。

「流行語大賞を掲載しているアルバムは、そのときの世相を反映するものとして掲載されているようです。」とありますが、これは流行語大賞に選ばれた言葉が確かに世相を反映しているとして学校が判断してアルバムに掲載しているのでしょうか。それとも、学校としてそれらの言葉が世相を反映しているかどうかは全く判断されないのでしょうか。

次に、「子どもたちが、それぞれの言葉について適切か不適切かを判断し、正しい行動が出来る大人になるよう、これからもさまざまな場面で指導をすることが大切であると考えています。」とありますが、指導する側であり、かつアルバムを作成する学校は流行語大賞に選ばれた言葉がアルバムに掲載される言葉として適切か不適切かを判断されるのでしょうか。

もし、判断されないということでしたら、アルバムに掲載される言葉は自由であるが、子どもたちにのみ言葉を適切か不適切かを判断することが出来るように指導し、そして正しい行動が出来るように指導することなののでしょうか。

私は、日本を否定するあのような言葉を卒業アルバムに掲載してほしくないという一心で質問をしております。回答をお待ちしております。

### 回答

流行語大賞に選ばれた言葉が世相を反映しているのかどうかということについて、学校が判断するものではありませんが、学校はアルバムに掲載する内容が適切かどうかの判断を必要があると考えております。また、子どもたちの一生の宝となる卒業アルバムをどの子どもにもよい思い出となるような、よいものを提供する必要があると考えております。そして、そのようなアルバムは、子どもたちにとって大切なものであると同時に、保護者の皆様にとっても、大切なものであると認識しております。今回いただいたご意見を学校にも伝え、子どもたちにも保護者の方にもよい思い出となるアルバムを作成していくよう、また政治的な文言や誤解を受けるような文言が掲載されたものを採用しないよう学校に対し指導をしてまいりたいと考えております。

貴重なご意見ありがとうございました。

担当課

学校教育課（2016年12月回答）

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

世界文化遺産について

今回。ユネスコの世界文化遺産に全国各地の祭り屋台、山車などが認定されましたが、伊勢の御遷宮でのお木曳車、尾白石奉曳車は推薦されなかったんですか

回答

祭り屋台や山車とは祭礼の際に曳いたり担いだりする出し物のことで、祭りに招き寄せる神の依代となるものです。

一方、お木曳行事やお白石持行事で使われる奉曳車は木や石を運ぶための運搬車であり、神様を招き寄せる出し物ではありません。

よって、奉曳車は祭り屋台や山車には該当しないため、推薦は行っていません。

担当課

文化振興課（2016年12月回答）



## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

市立伊勢総合病院の建て替えに伴う専門医招聘

市立伊勢総合病院が現在建て替えています。それに伴い専門医を充実させて頂きたくお願い致します。身内に脊椎（頸椎）を損傷している者がおりますが、南勢地区の救急担当である伊勢赤十字においても、経過観察のみで外科的治療はできませんと言われております。軽い事故等でも命に関わる大事に至るおそれが健常人よりも高いため、救急対応ができないのであれば県外への転出も考えなければならぬかと思っています。（三重大病院も日赤と同じようです）しかし、実際には仕事や学校のこともありなかなか転出するのも難しい状況です。

伊勢病院が生まれ変わるのに際し、手薄であるこういった領域（脊椎脊髄外科）の専門医が来て下さると安心して生活ができると思います。その他の領域に関しても、日赤で対応できないものを補完できるような体制を作って頂くことが、地方でも安心して暮らしていけるためには必要と感じます。是非ご検討願います。

回答

お身内の方のお身体について、ご心配のことと存じます。

医師の招聘につきましては、平成31年1月の新病院の開院に向けて一層の努力をさせていただいているところであります。また脊椎脊髄外科をはじめとする専門医の招聘につきましては、各専門の違ひもあり手薄な領域はございますが、市民病院として地域の方が安心して生活できる受け皿となるよう、医療体制を充実していきたいと考えます。

今後も専門医を含め、医師の招聘に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

担当課

伊勢総合病院経営企画課（2016年12月回答）